百日咳に注意しましょう！

長野保健所管内における百日咳患者の届出数は、過去５年で１例のみの低い水準でしたが、４月 11 日から４月 21 日までの間に５例の届出があり、県内及び国内でも患者が増加しております。

咳などの症状がある方は早めに医療機関を受診されるとともに、マスクをつけ、咳エチケットを守りましょう。

百日咳ってどんな病気？

- ○ 百日咳は、百日咳菌による感染症です。
- ○ 咳やくしゃみに含まれる菌によって感染します（飛沫感染）。
- ○ 激しい咳をともなう病気で、１歳以下の乳児、特に生後６か月以下の子供では無呼吸発作など、重症化することがあります。（死亡例もあります。）
- ○ 年長児や成人では、比較的軽い症状で経過することも多く、受診・診断が遅れ、感染源となることがあります。乳児の周りでは特に注意が必要です。
- ○ 治療には抗生剤の投与がおこなわれます。

症状は？

- ○ 普通のかぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。
- ○ その後、特徴のある発作性けいれん性の咳（痙咳）となります。また咳とともに嘔吐を伴うこともあります。
- ○ ２～３週間で激しい発作は次第に治まりますが、まれに忘れた頃に発作性の咳が出ることがあります。

予防するには？

- ○ 手洗い、マスクの着用、咳エチケット等の基本的な感染対策が重要です。
- ○ 百日咳の予防には**予防接種**（５種混合ワクチン等）が有効です。
- ○ 生後２か月から予防接種法に基づく定期接種を受けることができるため、できるだけ早く、計画的に接種しましょう。

長野県長野保健福祉事務所　℡０２６－２２５－9045